

2022年6月28日

2023年型コイズミ学習家具新製品の概要について

書斎、テレワーク、趣味、ゲーミング、クリエイトなど様々な用途に
ユニバーサルデザインの視点によるデスク新シリーズを投入

コイズミファニテック株式会社

コイズミファニテック株式会社(本社:大阪市中央区備後町、社長:若林俊宏)は、学習家具への事業集約4年目となる本年4月にトップが交代、若林社長の新体制のもと、小泉産業グループ方針のSDGsへの取り組みとも連動し、総合デスクメーカーとして様々な世代、ライフスタイルに合わせたデスクを提案します。



「アルテージ」(コーナーデスクタイプ)



「アルテージ」(昇降デスクラウンド天板)



モデルチェンジの「ビルトコンボ」

23年型新製品としては、「働く」「学ぶ」「遊ぶ」の暮らしに対応した大人ターゲットの新シリーズ「ULTAGE(アルテージ)」(9機種)を投入します。

多様化する働き方への対応を目指すとともに、ゲーム、動画鑑賞、オンラインでの習い事など趣味の時間を楽しみたい人、クリエイターやエンジニアなどPC環境を快適に整えたい人などに向けたデスクシリーズです。

既存シリーズにおいては、居住スペースを有効利用できるベッドデスクシリーズのうち、ハイベッドタイプの「ビルトコンボ」を4年ぶりにモデルチェンジ。幅広い年齢層に対応すべく、インテリアに調和する新色のカラー、MO色、WO色の2色をラインアップしました。

好評いただいているステップアップカラーデスクの「CD」シリーズ、「DECOPRI」シリーズ、マルチラックベーシックにおいてはシェルフの下台をノックダウン仕様に変更し、梱包サイズを小さくすることで運びやすさを実現、物流コストの削減や緩衝材を減らすことで環境への負荷低減に配慮しました。

2023年型デスク商戦に向けては、新製品を含めたデスクはじめ椅子、ランドセルラック、デスクマット、カーペットなど計340機種の品揃えで臨み、販売目標台数は学習・書斎デスクで6万台、椅子で9万台を見込んでいます。

なお、今期、製品価格の見直しについては7月より実施する予定でおります。

【2023年型デスク新製品:ULTAGE(以下 アルテージ)の概要】



「アルテージ」(昇降デスク左)



「アルテージ」(デスク)

「アルテージ」の商品開発に当たっては、グループ方針であるSDGsへの取り組みとも連動して、目標ゴールのひとつである「働きがいも 経済成長も」の達成に向け、テレワーク・学習環境をあらゆる人びとに快適にサポートできるをコンセプトに、ユニバーサルデザインの原則である「誰にでも公平に使えること」「使う上で柔軟性がある(自由度が高いこと)」「身体への過度な負担を必要としない」との視点を考慮した設計で、快適な「働く」「学ぶ」「遊ぶ」をサポートします。

デスクは、天板固定タイプ(フラットデスク、コーナーデスク)2機種、電動昇降タイプ(天板の形状がフラット、作業スペースを広く活用できるL型(左、右タイプ))3機種の計5機種からお選びいただけます。5機種すべての天板にはホワイトオーク材を使用し、天然木ならではの温もりや重厚感を感じていただけます。また、天板形状も身体を包むようなアームに近い形状のため、上半身を大きく動かさなくても手を伸ばせば届く範囲の空間で作業が行えます。

電動昇降タイプはいずれの機種も操作パネル(USBポート付き)で、天板の高さを630mmから最大1280mmまで電動かつ無段階で設定できます。操作パネルには設定した高さがデジタル表示されますので、作業内容によつて的確な高さ設定にも便利です。また、高さのメモリー機能付きです。

昇降デスクは立ち姿勢を取り入れることで、長時間座って作業するよりもリフレッシュして、生産性アップ(作業の効率)も期待できます。海外のオフィスでは健康促進への取り組みとして立って働くスタイルが普及し始めていますが、近年の働き方の多様化により、自宅でも立ち姿勢で作業をする方が増えています。

「アルテージ」ではこのほか、デスクワークに欠かせないPCを使いこなす快適環境をオプションとして、パソコン台、キーボード収納、配線コード孔としてご使用いただくデスクシェルフ(3機種)とサイドラック(1機種)の商品も開発しております。



以上

本件に関するお問い合わせ先

コイズミファニテック株式会社
EC・販促企画室
TEL:06-6484-5364